

令和5年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目(化学) 教授 池田 宏

取組状況	
教育	<p>1、1年必修科目化学I の予習実験動画を活用した学生実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学Iでは、予習演習のクラスルーム配信や予習実験動画を活用した学生実験を行うことが出来た。授業評価アンケートでは「実物や模型が役立った」等の好意的な意見が見られた。 <p>2、3年選択科目の化学特論にて分子模型を用いた演示実験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年化学特論では、分子模型を用いた演示実験を実践することでより深い理解に繋げることができた。 <p>3、機械システム工学コース5年生1名の卒業研究指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究指導の結果、次年度の実験に向けてまとめることができた。4年ゼミナール生への引き継ぎも含めて、今後の卒業研究指導に繋げることができた。
研究	<p>1、査読論文を執筆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Shinji Toyota, Sayaka Ban, Muneyasu Hara, Masahiko Kawamura, <u>Hiroshi Ikeda</u>, Eiji Tsurumaki, Synthesis and properties of rubicene-based aromatic π-conjugated compounds as five-membered ring embedded planar nanographenes, Chem. Eur. J., 29, e202301346(2023). ・Shinji Toyota, Hiroshi Sekikawa, Hiroki Fukuda, <u>Hiroshi Ikeda</u>, Eiji Tsurumaki, Scholl Reactions of Di(1-anthryl) Ketones: Formation of a Novel Polycyclic Aromatic Ketone via Unusual Rearrangement, Chem. Lett., 52, 811-814(2023). <p>2、国内学会で発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小林 和也, <u>池田 宏</u>, 小林 美学, 工業系学校における科学的基礎力に関する調査と分析 –工業系学校間における素朴概念の共通性について–, 工学教育協会第71回年次大会(2023年度), VS04, ハイブリッド開催(広島大学東広島キャンパス), 2023年9月 ・小林 和也, 後藤 志緒莉, <u>池田 宏</u>, 工業系学校初年次における素朴概念の修正に向けた 授業実践と分析, 工学教育協会第71回年次大会(2023年度), VS05, ハイブリッド開催(広島大学東広島キャンパス), 2023年9月 ・岩間世界, 小林和也, <u>池田 宏</u>, 長尾明美, 高原周一, 大学教養課程における文系学生と理系学生の科学的概念の比較調査について, 日本理科教育学会第73回全国大会, 日本理科教育学会 全国大会発表論文集 第 73号,24-C103, 高知大学朝倉キャンパス, 2023年9月
社会貢献	<p>1、出前受入授業「生物発光について考える」</p> <p>2、出前受入授業「化学発光について学ぼう」</p> <p>3、出前受入授業「温泉の化学について学ぼう」</p> <p>4、出前受入授業「身近な色素を用いた太陽電池の製作」</p> <p>5、社会活動: 令和5年度 専体協競技専門部地区委員(ソフトテニス)</p> <p>6、東京工業大学 特別研究員(令和5年4月1日～令和6年3月31日)</p>